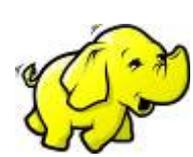


Hadoop Conference Japan 2016

Spark Conference Japan 2016

スポンサーのご案内

日本Hadoopユーザー会



日頃より日本Hadoopユーザー会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

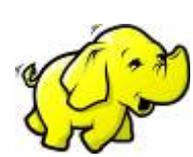
日本Hadoopユーザー会では、2016年2月8日に東京都品川区区内にて、Hadoopの総合イベント「Hadoop Conference Japan 2016」を開催します。

Hadoop Conference Japanは2009年より5回開催しており、今回で6回目となります。最近では約1000者の参加社、3トラックによる講演などを実施させていただき、Hadoopや周辺OSSの利用推進に一定の役割が担えているものと考えています。

今回は、あらたに Apache Spark に関するイベント「Spark Conference Japan 2016」も併催することになりました。

開催にあたり、イベントの趣旨に賛同いただけるスポンサーを募っています。ぜひ、皆様の応援をお待ちしています。

2016年1月
日本Hadoopユーザー会
Hadoop Confence Japan 実行委員会



■ イベント名称

- ・ Hadoop Conference Japan 2016
- ・ 併催) Spark Conference Japan 2016

■ 主催

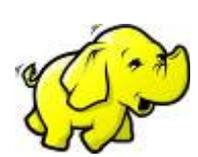
- ・ 日本Hadoopユーザー会
Hadoop Conference Japan実行委員会

■ 日程

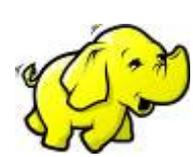
- ・ 2016年2月8日(月)

■ 会場

- ・ きゅりあん（東京都品川区、大井町駅すぐ）



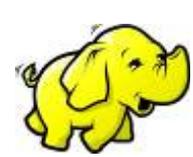
- Keynote
- 講演（ランチセッションを含む）
- ライトニングトーク（LT）
- 特別企画
- 懇親会



セッション構成（案）



	大ホール	イベントホール A	イベントホール B	大会議室	
10:00～ 12:00	Keynote				
12:10～ 12:50		ランチ セッション	ランチ会場	ランチ セッション	
13:00～ 13:35	Hadoop Conference セッション (2トラック)		展示	Spark Conference セッション	
13:45～ 14:20					Hadoop Conference セッション
14:30～ 15:05					
15:15～ 15:50					
16:00～ 16:35					
17:00～ 19:00		懇親会			

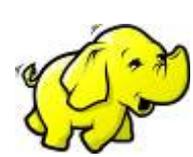


イベントスポンサーの募集



本イベントの開催を応援くださる企業・団体を募ります

募集数	7社
金額	1社につき 50万円
用途	会場費や開催にかかる費用に充てます (余剰金が発生した場合には、次回のイベント／勉強会の開催費用として繰り越されます)
特典	<ul style="list-style-type: none">・当日配布のセッション一覧(A4チラシ)に会社ロゴを掲載・キーノート時に社名・会社ロゴを投影・チラシ(各社2点まで)配布(会場内の指定テーブルにて)・個別の展示テーブルの利用
募集方法	過去開催時のスポンサー・展示ブース出展社向けに事前受付(締切:1月14日)を行い、募集数に満たない場合には一般募集します(先着申込順)
注意事項	<p>スポンサープログラムへの申し込みには、1月14日までに所定の申込用紙のご提出をお願いしています。個別契約書の締結や書類作成などの個別対応には応じません。</p> <p>日本Hadoopユーザー会は任意団体です。請求の名義は日本Hadoopユーザー会となります。スポンサー費用の支払いは銀行口座への現金振込でお願いします。振込先の銀行口座名義は、日本Hadoopユーザー会の銀行口座(みずほ銀行 東京中央支店 普通)とさせていただきます。2016年1月29日までのご入金をお願いします。</p> <p>配布チラシや展示テーブルでの紹介内容は、Hadoopおよび周辺ソフトウェアに関わる内容をお願いします。会場内で商品やサービスの案内はできますが、販売や直接的な営業行為はできませんので予めご了承ください</p> <p>予算計画が変更になった場合、募集数を追加・削減する場合があります</p> <p>万が一、本イベントが開催に至らなかった場合は、それまでに支出が欠かせなかった費用を差し引いた額を、返金します</p>

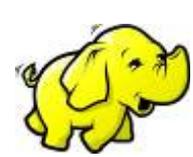


スポンサー・オプションのお願い



イベントスポンサーとして協力頂ける企業の方に、次のスポンサー・オプションも
お願いします
(それぞれ現物提供を想定しています、具体的な内容は、調整の上で決定させていただきます)

ランチスポンサー	参加者、講演者、スタッフ(1000名程度を想定)のランチとして、お弁当や飲み物の現物提供をお願いします。容器の回収・処分もお願いします ランチ提供元として、キーノートでご紹介します
ドリンクスポンサー	午後の休憩時間帯を中心に、水やコーヒーなどのドリンクの提供をお願いします 余りや容器の回収・処分もお願いします ドリンク提供元として、配布場所に社名・ロゴを掲載します
懇親会 食事スポンサー	夕方の懇親会での食事の現物支給をお願いします(200名程度を想定)。 片付けも含めてお願いします。 ご提供元として、懇親会にてご紹介します(ひと言のご挨拶もお願いします)
懇親会 ドリンクスポンサー	夕方の懇親会での飲み物の現物支給をお願いします(200名程度を想定)。 片付けも含めてお願いします。 ご提供元として、懇親会にてご紹介します(ひと言のご挨拶もお願いします)
参加者バッチ スポンサー	参加者、講演者、スタッフ(1000名程度を想定)が、首からかけるリール式のバッチの現物提供をお願いします。 リール部分にイベントロゴの印刷をお願いします。ストラップ部分に、イベント名に加えてスポンサー社名(もしくはロゴ)を掲載頂けます

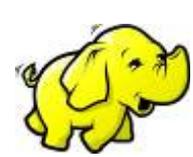


きゅりあん（品川区立総合区民会館）

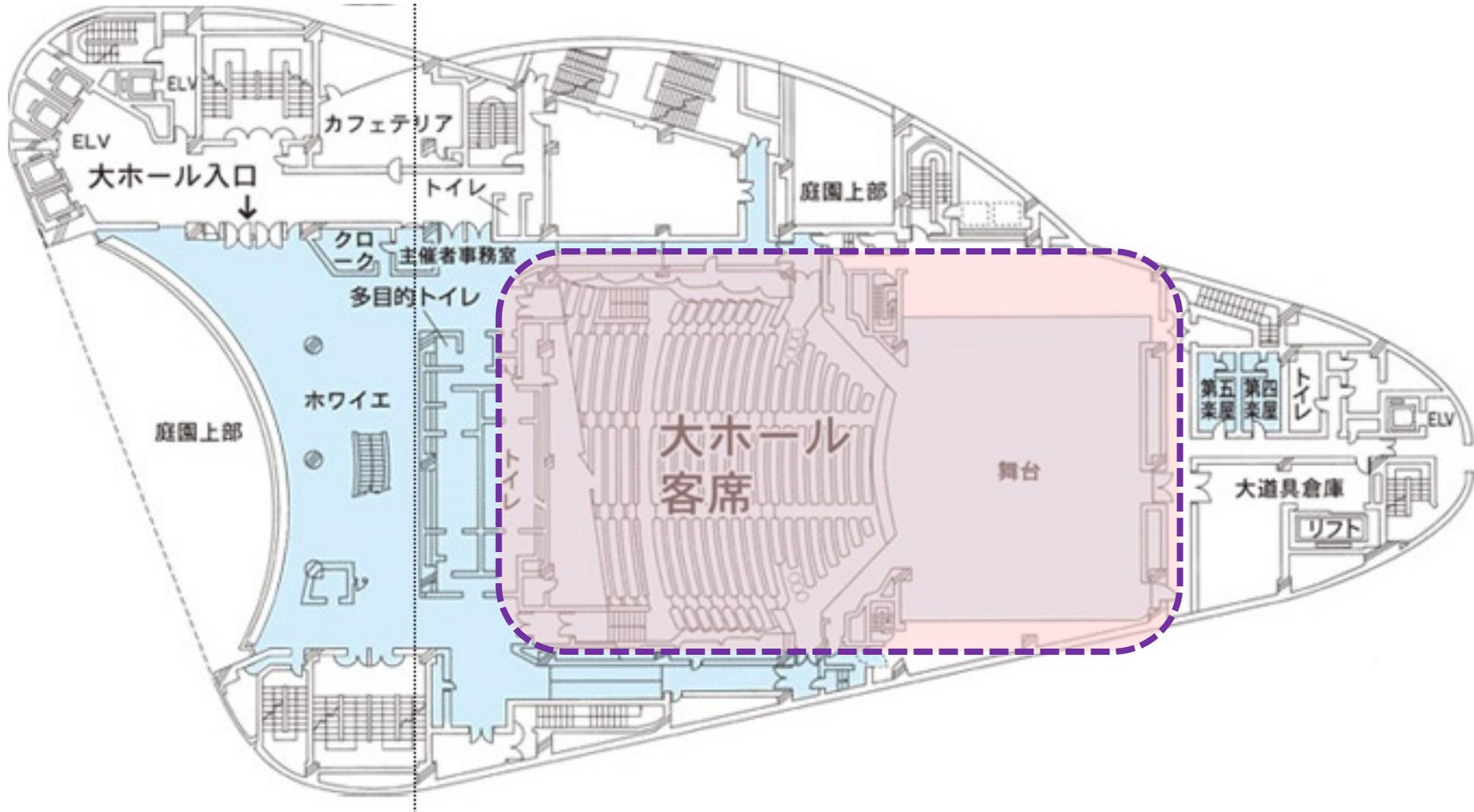
東京都品川区東大井5-18-1

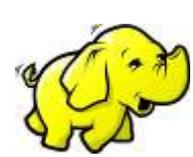
JR京浜東北線／東急大井町線／りんかい線 大井町駅 徒歩約1分



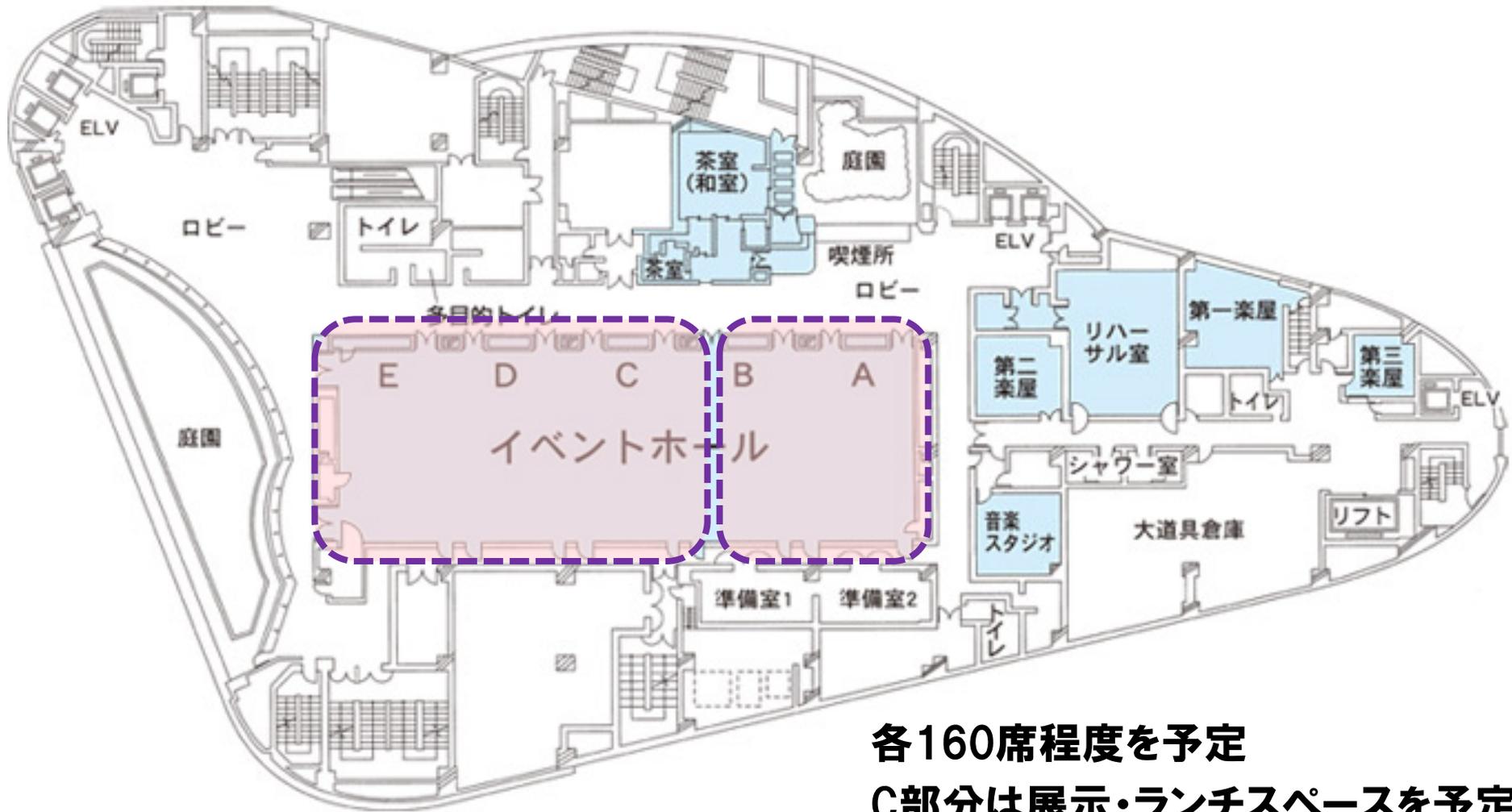


大ホール(8F) 椅子席 1074席

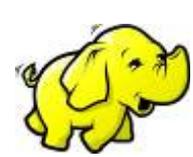




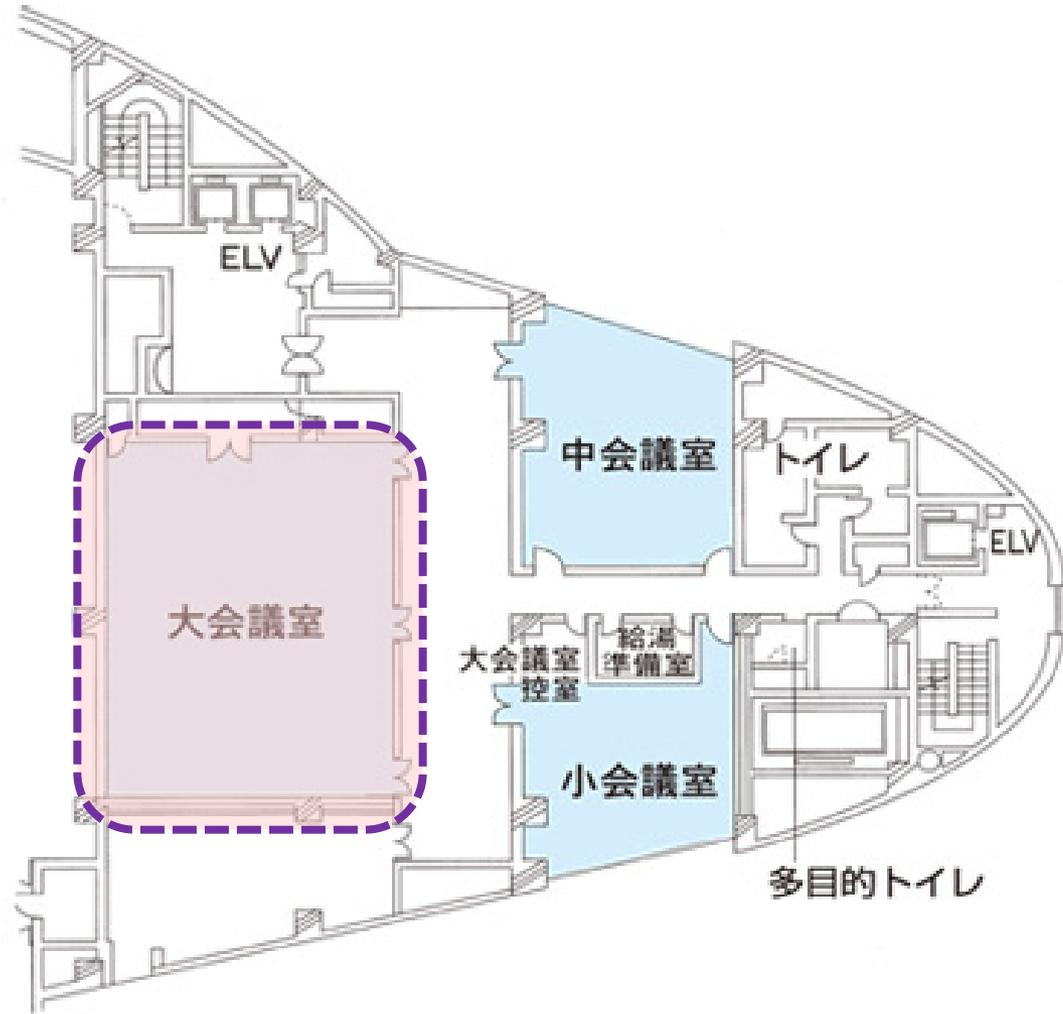
■ イベントホール（7F）2分割を予定

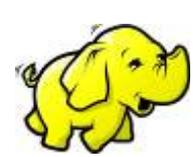


各160席程度を予定
C部分は展示・ランチスペースを予定



■大会議室(6F) 椅子席(机あり) 96席





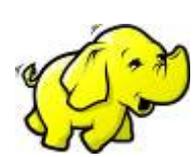
ご不明点などがあれば、ご連絡ください

**専従の事務局は設置していないため、回答にお時間を
頂くことがあります。あらかじめご了承ください**

日本Hadoopユーザー会

Hadoop Conference Japan 2016実行委員会

E-mail: hcj2016@todo.ne.jp



■ Hadoop Conference Japan 2009

2009年11月13日@先端技術館TEPIA

登録者数:330名 <https://atnd.org/events/1848>

■ Hadoop Conference Japan 2011

2011年2月22日@豊洲センタービル

登録者数:348名 <https://hadoop-conference-japan-2011.eventbrite.com>

■ Hadoop Conference Japan 2011 Fall

2009年11月13日@ベルサール汐留

登録者数:1178名 <https://hadoop-conference-japan-2011-fall.eventbrite.com>

■ Hadoop Conference Japan 2013 Winter

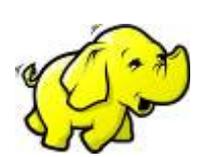
2013年1月21日@東京ビッグサイト 会議棟

登録者数:1153名 <https://hcj2013w.eventbrite.com>

■ Hadoop Conference Japan 2014

2014年7月8日@ベルサール汐留

登録者数:1299名 <https://hcj2014.eventbrite.com>



参考：これまでの Hadoop Conference Japan

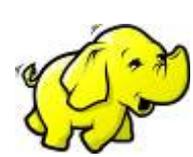


Hadoop Conference Japan 2013 Winterの様子(写真)

<https://www.flickr.com/photos/122729196@N08/sets/72157644219708923>

Hadoop Conference Japan 2014の様子(写真)

<https://www.flickr.com/photos/122729196@N08/sets/72157650063538341>



その他の説明事項



- 前回までは1社スポンサー体制（ブース出展者は実費程度の負担）としていましたが、今回から複数社のスポンサー体制に変更します
- 継続性の観点から、装飾や造形等にかかる費用は前回より抑えます。ただし、参加者数(定員1000名規模)は維持できる会場を選定しています
- イベント運営会社などへの依頼は原則行わず、実行委員会メンバーおよび当日ボランティアによる運営を目指します
- 今回より Apache Spark に関するイベント「Spark Conference Japan 2016」を併催します。運営は共同で行います